

[27卒 翌5月]

ブンナビ学生アンケート

■今月のテーマ■

【6月まで就活を続けるか】

「続ける」が29.3%(昨対-3.4%)と昨対減。続ける理由が「第一志望企業の選考が終わっていないため」が59.3%(昨対+9.3%)、次ぐ「内定先に不安が残るから」は51.9%(昨対+18.6)と大幅増。

【入社予定先の内定フォロー】

内定から入社までの期間、入社予定先からの連絡頻度で望ましいのは「1ヶ月に1回程度」が5割超。内定通知後の連絡やフォローで志望度が下がったケースは約1割。

【就活の有利・不利(性差/学校名)】

就活での有利・不利について、性別では約5割が「違いを感じた事は無かった」。大学名では「あると感じた。優遇されていると感じる事が多かった」が28.0%(昨対+0.3%)だが「あると感じた。有利・不利どちらともいえない」も27.1%と僅差。

定例トピックス

【トピックス1】

「就職活動終了した」が43.9%(昨対-6.9%)と昨対減。一方「現在の内定先に不満は無いが、就職活動を続ける」が32.7%(昨対+17.3%)と大幅増。

【トピックス2】

企業への「採用"本選考"のエントリー数」は11~20社が最多の17.8%(昨対-3.7%)、これまで参加した会社説明会・企業セミナー数も11~20社が22.4%(-0.7%)が最多となった。

【トピックス3】

内々定獲得企業のうち、IS・オープンカンパニーに参加した企業は7割超。内々定企業への入社意思是「入社したい」が7割強、「できれば別の会社」「入社したくない」が2割強。

———目次———

P2 【グラフで見る】今月のテーマ

P5 【グラフで見る】定例トピックス

P7 設問一覧

調査概要

開始 2026/5/1 ~ 終了 2026/5/24 (24日間)

有効回答数 107件

【グラフで見る】今月のテーマ

【6月まで就活を続けるか】

「続ける」が29.3%(昨対-3.4%)と昨対減。続ける理由が「第一志望企業の選考が終わっていないため」が59.3%(昨対+9.3%)、次ぐ「内定先に不安が残るから」は51.9%(昨対+18.6)と大幅増。

【入社予定先の内定フォロー】

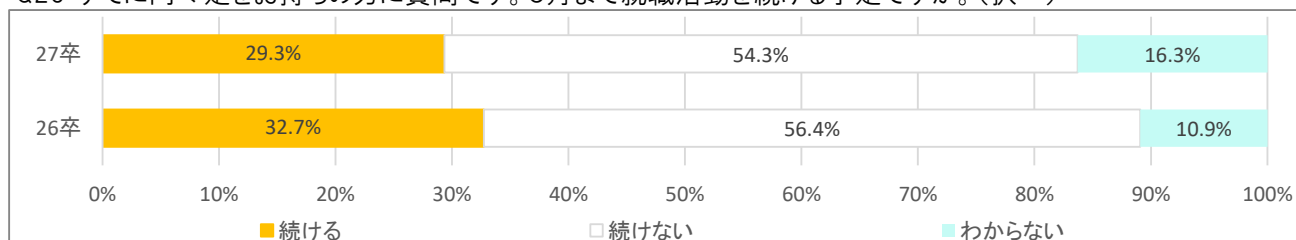
内定から入社までの期間、入社予定先からの連絡頻度で望ましいのは「1ヶ月に1回程度」が5割超。内定通知後の連絡やフォローで志望度が下がったケースは約1割。

【就活の有利・不利(性差/学校名)】

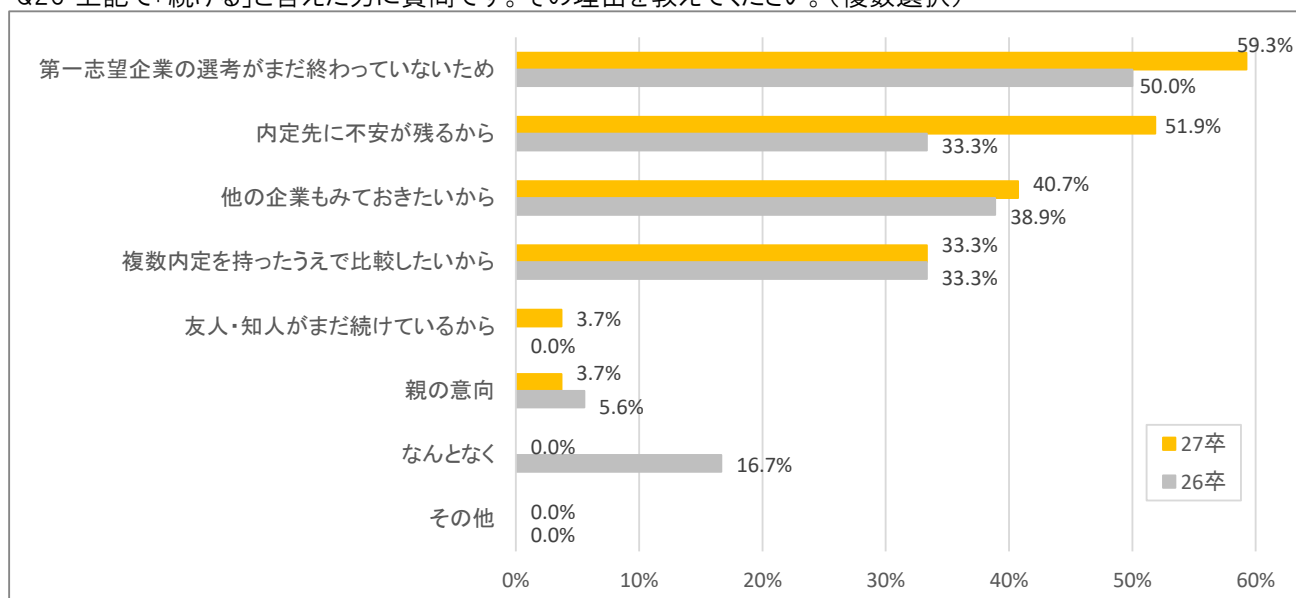
就活での有利・不利について、性別では約5割が「違いを感じた事は無かった」。大学名では「あると感じた。優遇されていると感じる事が多かった」が28.0%(昨対+0.3%)だが「あると感じた。有利・不利どちらともいえない」も27.1%と僅差。

【6月まで就活を続けるか】「続ける」が29.3%(昨対-3.4%)と昨対減。続ける理由が「第一志望企業の選考が終わっていないため」が59.3%(昨対+9.3%)、次ぐ「内定先に不安が残るから」は51.9%(昨対+18.6)と大幅増。

Q25 すでに内々定をお持ちの方に質問です。6月まで就職活動を続ける予定ですか。(択一)

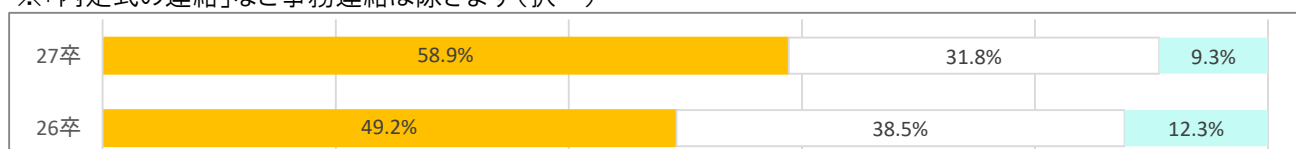


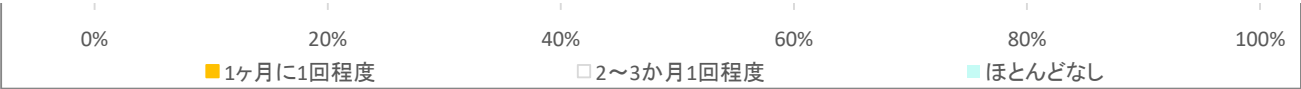
Q26 上記で「続ける」と答えた方に質問です。その理由を教えてください。(複数選択)



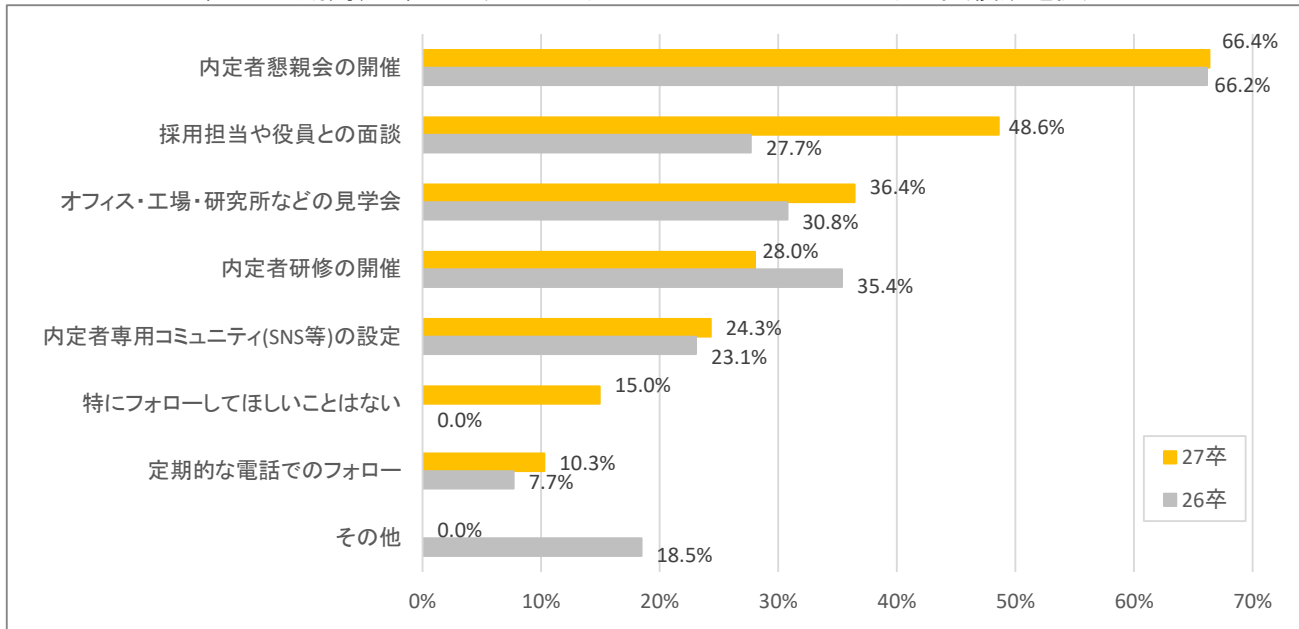
【内定フォロー関係】内定から入社までの期間、入社予定先からの連絡頻度で望ましいのは「1ヶ月に1回程度」が5割超。内定通知後の連絡やフォローで志望度が下がったケースは約1割。

Q27 内定から入社までの期間、入社予定先からのフォロー連絡の頻度はどれくらいが望ましいですか。
※「内定式の連絡」など事務連絡は除きます(択一)

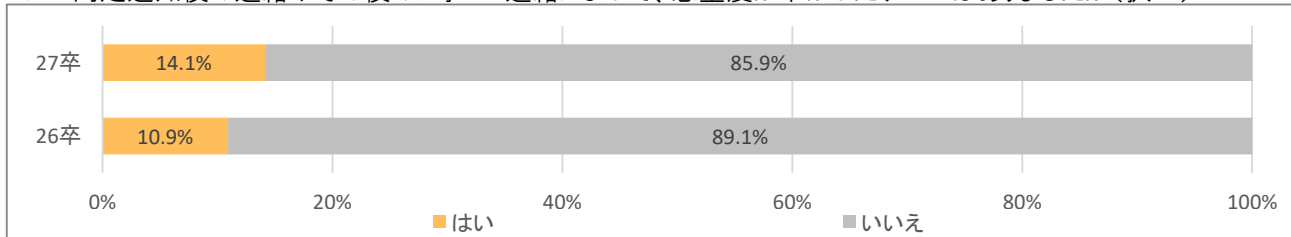




Q28 内定から入社までの期間、入社予定先からフォローしてほしいことはありますか。（複数選択）



Q31 内定通知後の連絡やその後のフォロー連絡によって、志望度が下がったケースはありましたか（択一）

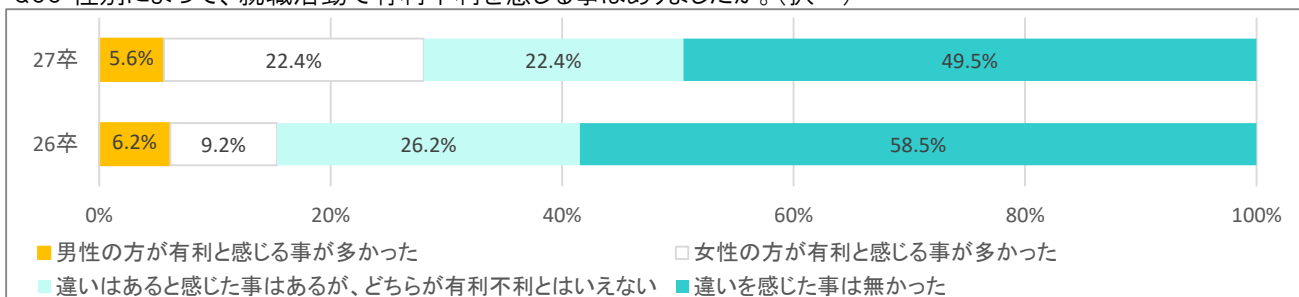


Q32 差し支えない範囲で、具体的に内容・エピソードを教えてください（自由記述）（任意）

- ・ほかの内定者には社員面談の連絡がきてたが私にだけなかった
- ・リモートワークありだったのが、なしになったことを内定承諾しに本社に行ったタイミングで伝えられたこと
- ・囲い込み
- ・大学3年の3月の時点で28卒の採用のために後輩を紹介するサイトに登録させられた。
- ・内定承諾の期限が当初設定より段々と短くなり、電話先の人事の方の声のトーンが明らかにやつれていった
- ・頻繁な電話による連絡

【就活の有利・不利（性差／学校名）】就活での有利・不利について、性別では約5割が「違いを感じた事は無かった」。大学名では「あると感じた。優遇されていると感じる事が多かった」が28.0%(昨対+0.3%)だが「あると感じた。有利・不利どちらもともいえない」も27.1%と僅差。

Q33 性別によって、就職活動で有利不利を感じる事がありましたか。（択一）



Q34 上記のように感じた理由、出来事があれば教えてください。(任意)(自由記述)

【男性の方が有利と感じる事が多かった】

- ・ 商社、特に専門商社は男性が多い【女性】
- ・ 業界によって明らかに男の人が優遇された結果の企業があった。【女性】

【女性の方が有利と感じる事が多かった】

- ・ IT業界のとくにSE職は女子枠がある企業にはあることを知っているから(厳密に言うと、女子の選考基準が男子よりも低い企業がある)【女性】
- ・ インターンに参加した時は男女比が1:1程度だったのに、本選考終盤になると1:3程度になっていたことが複数回あった。【男性】
- ・ 業界全体で女性の母数が少ないので、優秀であるかつ女性であればその貴重さに拍車がかかるため。【男性】
- ・ 同じ大学でも、体感女性の方が事業規模の大きい、有名な企業に内定を貰っている。【男性】

【違いはあると感じた事はあるが、どちらが有利不利とはいえない】

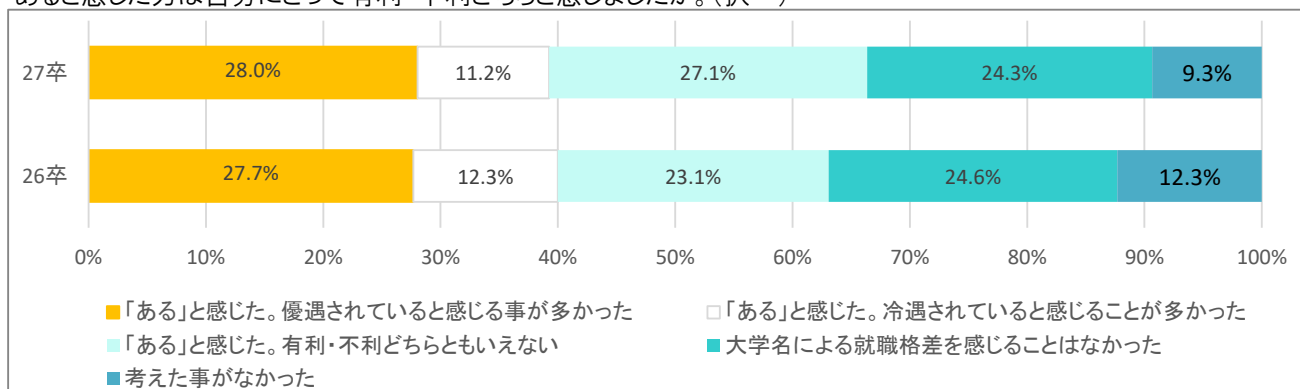
- ・ 営業職におけるポテンシャルのデメリット払拭【男性】
- ・ 最終面接官が多くの場合男性(人事部長や役員など)であり、同性の方が比較的コミュニケーションを取りやすいのではないかと感じたため。大学院卒かつ女性という属性の応募者に対する理解が薄いと感じた。【女性】
- ・ 選考での有利不利は感じたことがないが、女性の方が産休育休や女性の働きやすさなど、気にするべき部分が多いと思った。女性の少ない業界には応募しづらい。【女性】
- ・ 日本は、ジェンダー問題の何国であるべきだと思うから。【男性】

【違いを感じた事は無かった】

- ・ 説明会を聞いていてそこまでキャリアアップに関係ないと感じた【男性】
- ・ どちらかというと専攻が違うと…という感じだった【女性】
- ・ 熱意を重視していたので、性別による違いは感じなかった。【男性】

Q36 実際に就活を行なってみて、「大学名による就職格差」はあると感じましたか？

あると感じた方は自分にとって有利・不利どちらと感じましたか。(択一)

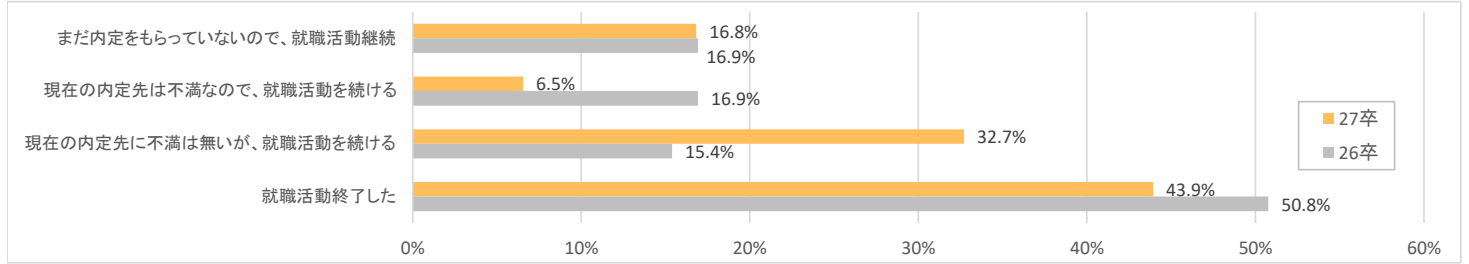


Q38 就職格差を感じたエピソードがあれば具体的に教えてください。(任意)(自由記述)

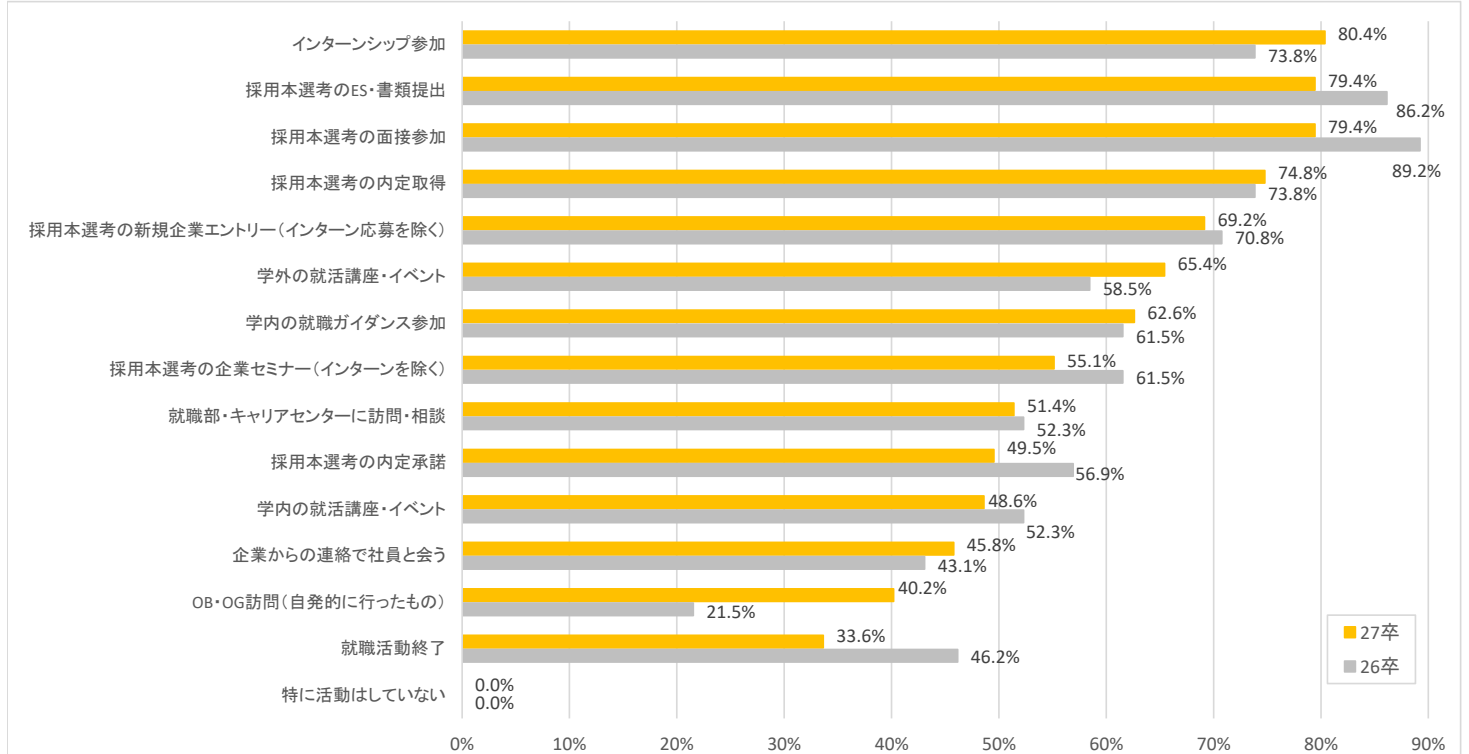
- ・ 外国語を学んでいた分、グローバル展開をしていない企業からは少し敬遠されている感じはあったが、逆に先輩の多い企業では優遇される感じがあった。【東京外国語大学】
- ・ 学歴フィルターが存在すると思う。【一橋大学】
- ・ 自分が、志望企業に落ち続けているとき。学生時代に多種多様な経験を積んでいることを求めるかのようなES質問項目を見て、留学できる人とできない人の経済格差を感じた。【東京都立大学】
- ・ 受けたところが全て通って拍子抜けしたから【金沢大学】
- ・ 紹介求人への給与の低さ【桜美林大学】
- ・ 説明会で女性比率が高いとか、女性管理職の多さをアピールしている企業が多く、採用においても女性を優先的に採用しているように感じた。周りの話でもITとコンサル業界では露骨な女性優遇があると頻繁に耳に入る。【新潟大学】
- ・ 説明会の予約をしたら「群馬大学の学生さんをぜひ採用したい」というメールが直接来た【群馬大学大学院】
- ・ 総合職採用で全国に支社がある会社の場合、東大京大などの超高学歴は都内に配属されやすいことを知った時。早慶などの私立はコネクションが多いから。地方国立大学は特にそういうコネクションがほぼなかった。【千葉大学】
- ・ 内定実績を見て、所属する大学の人数が少なかったのを見た【関西学院大学】
- ・ 有名企業のグループディスカッションで、自分以外は東京一工や早慶の人のみというパターンがあった。それ未満の志願者はESである程度落としているように感じた。実力不足なことが大前提だが、自分もこのフローで落ちてしまった。【明治大学】

【グラフで見る】定例トピックス

■現在の就職活動状況を教えてください。(択一)



■これまでの期間で、あなたがおこなった事、経験した事をすべて選んでください。(複数選択)



■企業への「採用〃本選考〃のエントリー」を行っていますか。エントリー(プレエントリー)した数を教えてください。※インターンシップ応募とは異なります(択一)

